

# 美旗市民センターだより



発行/美旗市民センター 住所/〒518-0616 名張市美旗町南西原229-3  
 TEL&FAX 0595-65-3007 Email:mihata-ko@emachi-nabari.jp **10月号**  
 HP <https://www.emachi-nabari.jp/mihata/>  
 学級、講座、その他のお問い合わせ・お申し込みは、平日の9時~17時に美旗市民センターまで。

## 第25回 美旗市民センター祭り 11/23 出場者・出店者大募集 (祝・水)

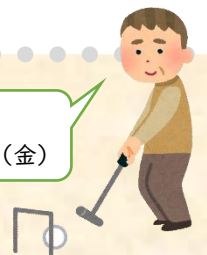
本年度は、登録サークルの発表と展示の部を開催し、催しの部については、地場産物販売のみ開催します。詳細につきましては、次号にてお知らせします。

### 出場者募集

高齢者学級スポーツ大会 **ゲートボール大会**

みはたメイハンランド内  
 10月18日(火) 8:30~12:00 新田ゲートボール場

申込締切  
 10月14日(金)



### 出場者募集

高齢者学級スポーツ大会 **グラウンドゴルフ大会**

みはたメイハンランド内  
 11月14日(月) 8:30~12:00 新田多目的広場

申込締切  
 10月21日(金)



### 出店者募集

地場産物販売コーナー ~軽トラ 青空市~

11月23日(祝・水) 美旗市民センター 駐車場

申込締切  
 10月21日(金)



地元産の野菜に限ります!!



※平日の9時~17時までに、美旗市民センター(TEL65-3007)までお電話にてお申込ください。メールによるお申込み可。ゲートボール、グラウンドゴルフ、軽トラ青空市のいずれかに参加希望と件名欄にご入力ください。メールアドレス [mihata-ko@emachi-nabari.jp](mailto:mihata-ko@emachi-nabari.jp) →→→→→→→→



## 第4回 美旗市民大学講座 第2回 美旗高齢者学級のご案内



本年度は、美旗小学校が名張市内で最初に150年を迎えます。当講座でも名張の教育史の150年の歩みを学ぶ機会を企画しました。昔を振り返るDVD放映もあります。また、卒業生のパネリストの方たちによる思い出話から、参加者の皆さんも当時を思い出して交流しませんか。

日時 12月4日(日) 13:30~15:00  
 場所 美旗市民センター 多目的ホール  
 テーマ 「美旗小学校150周年によせて」  
 講師 名張市立図書館長 山口浩司 さん  
 パネリスト 萩本孝夫さん、神原まどかさん 他



講師の山口さん

### 講演 「美旗地域の教育史」

清斎学校や美旗中学校は、ご存知ですか？江戸時代の寺子屋に始まり、明治の学制発布により各地域にたくさんの学校ができました。美旗地域の学校がどのように変遷してきたかを皆さんと一緒に見ていきたいと思ひます。



### <タイムスケジュール>

13:30~14:00 講演  
 14:00~14:15 DVD放映(懐かしの写真など)と休憩  
 14:15~15:00 パネルディスカッション





## 第2回美旗市民大学講座 開催

9月5日(月)13:30~15:30 美旗市民センター多目的ホールにて、第2回の講座が開催され、45名のかたが参加されました。

本年度は当館主催のハングルサークルが立ち上がりました。また、第4次韓流ブームも起こっています。

そんな中で、お隣の国なのに、あまり韓国文化を知らないのでは？ ということから、韓国文化、特に食文化の面

からのお話をさせていただきました。講師は、日本でも有名になった「イ・サン」や「チャングムの誓い」などの日本語監修をされ、韓国の食文化に造詣が深い、朝倉敏夫さんにお越しいただきました。現在は滋賀県平和祈念館の館長をされていますが、立命館大学で教授をされていました。

最初は、ハングル文字の成り立ちを少し教えていただきました。母音と子音を重ねて出来ています。朝倉先生は都草島(トチョド)という韓国の島で実際に暮らし、文化人類学のフィールドワークをされ、食文化を研究されました。韓国では、お膳の足が曲がるほどのおもてなしが喜ばれる、食事は皆で分かち合って食べるもの、など「食」

に関しての思いは特別なものがあります。

言葉でも、마음을 먹다(マウムモクタ)「心を食べる」という言葉「決心する」時に使うそうです。韓国の食文化のお話から、心の面が見えてくるような深いお話でした。

参加された皆さんも、韓国文化が少し理解でき、韓国の人たちの情に触れ、心温まる講演会だったとの感想をいただきました。



## まなび体験セミナー第4回講座 「日本の伝統 水引結びに挑戦」 追加募集!!

【日 時】 10月26日(水)13:30~15:30

【場 所】 美旗市民センター アトリエ

【講 師】 小島結納品店 小島淳子さん、敏孝さん

【内 容】 基本の水引結び(あわじ結び)で金封やぼち袋を作成

【募 集】 若干名 【材料費】 1,000 円

【持ち物】 はさみ、スティックのり

【申込み】 平日の9時~17時に美旗市民センター(TEL65-3007)までお電話ください。(10月7日まで)



## サークル友の会による清掃活動実施

9月26日(月)当センターの登録サークルで構成される美旗市民センターサークル友の会による館外清掃が実施されました。(12サークル、43名参加)

朝 8 時より 1 時間、アレチヌスビトハギの実(ひつつき虫)と悪戦苦闘しながらも駐車場の植え込みの草を丁寧に引いていただきました。センターの環境整備は、いつも利用者の皆様の奉仕活動で成り立っています。ご参加いただいた皆さん、どうもありがとうございました。



## まなび体験セミナー 第3回講座 「はじめての簡易金継ぎ講座」開催

9月10日、12日、伊賀在住の安永奈々子さんを講師に迎え、簡易金継ぎの講座を開催しました。(10人参加)今回は、自宅から持ち寄った欠け、ひび、割れのある皿やお茶碗等を、漆や金を使わず、樹脂や金属粉(真鍮粉、すずなど)で仕上げる簡易金継ぎに挑戦しました。

1日目は、欠けている部分を水中ボンドで補てんする作業や割れている断面にエポキシボンドを細かく置き圧着する作業を行い、そのまま2日間乾燥させました。

2日目は、ボンドで補てんした部分をペーパーやすりで磨き、<欠け>の器には、合成漆とうすめ液(少々)金属粉を混ぜて金液を作り、筆で補てんした部分に塗りました。<割れ>の器には、金液を竹串で細く置いていく作業を行いました。それぞれ、再び乾燥させる工程に入り、翌日以降の受け取りとなりました。

講師は、欠けたり、割れたりした大切な器が蘇る金継ぎの手法を皆さんに是非覚えて貰えたら嬉しいと話され、参加者からは、「捨てるに捨てられなかったお気に入りのソーサーが蘇ってとても嬉しい。」「ずっとやってみたかったのでとても楽しく出来ました。」との声が寄せられました。



## 美旗市民センター主催事業 10~11月

10月	3日(月)	13:30	第3回 美旗市民大学講座「織田信長の伊賀侵攻と伊賀衆の城館」
	6日(木)	19:30	美旗市民センター祭り実行委員会
	15日(土)	19:00	主催「ダンスサークル」
	18日(火)	8:30	高齢者学級スポーツ大会 ゲートボール大会
	26日(水)	13:30	まなび体験セミナー第4回「日本の伝統 水引結びに挑戦」10/7 締切
	31日(月)	13:30	主催「フォトサークル」
11月	12日(土)	19:00	主催「ダンスサークル」
	14日(月)	8:30	高齢者学級スポーツ大会 グラウンドゴルフ大会
	17日(木)	8:00	高齢者学級 奉仕作業
	23日(水・祝)		第25回 美旗市民センター祭り